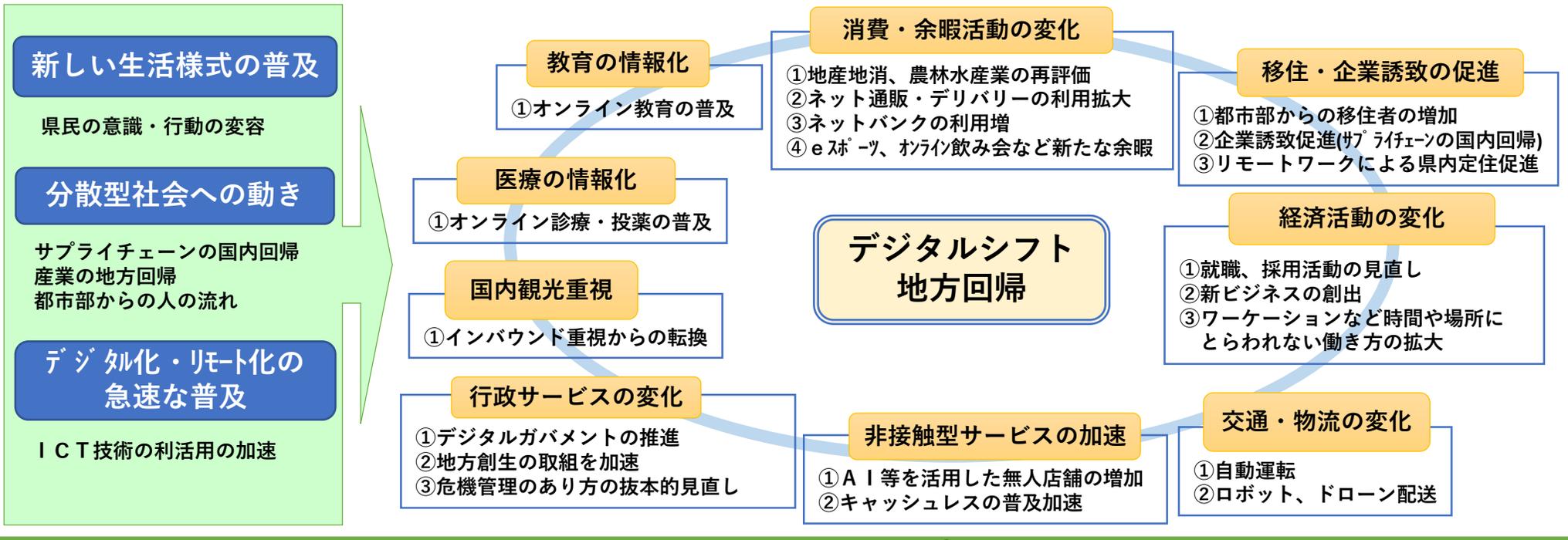


- ## 1. コロナ発生前の状況
- ①中央集権型の社会構造
 - ②人口減少による働き手不足
 - ③グローバル経済の進展
 - ④インバウンド重視の観光政策
 - ⑤対面型のサービスや働き方 など



- ## 2. コロナ発生後の状況
- ①人口密集リスクの顕在化
 - ②雇用環境の悪化、失業者の増加
 - ③サプライチェーンの途絶
 - ④外国人観光客の激減
 - ⑤ICTを活用した働き方の変化
 - ⑥非接触型サービスの需要拡大
 - ⑦医療崩壊の危機 など

3. ポストコロナ時代において想定される変化



4. ポストコロナ時代における持続可能な地域づくりの検討の必要性

- ①コロナ感染症によってもたらされる県内外の社会情勢の変化等についての現状認識・分析を行う必要がある。
- ②今後の変化を見据えて、取り組むべき課題とその優先度、将来の展望、目指すべき姿等について改めて整理する必要がある。
- ③上記①、②の視点から、本県の強み・魅力を生かした本県の持続可能な地域づくりの考え方を再構築する必要がある。